



宮司プレス 第百六十号

彦島八幡宮 宮司ニユース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 令和二年九月 三十日

◇宮司の柴田です。 過日の台風一過(いつか)

から、ようやく秋めいてまいりました。昨日、境内でも虫の声を耳にするようになりました。

外国の方は、日本の仲秋の風物詩でもある、このような「虫の声」は、俄(にわか)には信じ

がたいのですが、いわゆる、「ノイズ」、つまりは、雑音(ぎつおん)と感じるのだそうです。

折節(おりふし)の移り変わりを、「花鳥風月(かちょうふうげつ)」を愛(め)でつつ過(こ)してきた日本人の伝統的な情緒(じようちよ)、今

さらながら、日本人でよかつたと、ありがたく感謝させられます。

◇昨年九月に、モナコで開かれた気候変動に関する政府間パネル、IPCC総会で採択された

報告書によると、地球温暖化による極地(南極や北極)や山岳地域の氷床(ひようしよう)の融

解(ゆうかい)で、海面水位の上昇が加速しており、状況は不可逆的(ふかぎやくてき)な転

換点(てんかんてん) ティッピングポイント)を越えたと警告しています。つまりは、元の

状態に戻れないところまできているということです。

◇大自然は、厳しい爪痕(つめあと)

を残し、尊い人の命さえも奪ってしまいます。

今夏の西日本豪雨災害、特別警報の出せられた過日の台風しかりです。 そのような状況を自

の当たりにはじめて、人間も大自然の一員に過ぎないことを思い知らされます。 まさしく、「厳父(げんぶ)」です。 正しく恐れな

ければなりません。 しかし、前述のとおり、大自然は、折節の移ろいに、花鳥風月、私どもの

心を和めてくれますし、豊かな恵みを与えていただけます。 これこそ「慈母(じぼ)」、感謝

の心で、敬わなければなりません。 自然災害さらに、今、私共が、さらされているコロナ禍

もそうですが、「三つの備え」が必要です。 ひとつは、「物の備え」、昨今は、「ローリングス

トック」といわれていますが、生活必需品の備蓄です。 さらに、「行動の備え」、これは、避難

行動、非常事態に対応する備えです。 そして、一番大事なのが、「心の備え」です。 「厳父」

を「恐れ」、「慈母」を「敬う」、この「恐れ」と「敬う」をミックスした心である、「恐(かしこ

む)という「心の備え」が、必要ではないでしょうか。

ようか。

◇目下のコロナ禍は、人の移動や集会という行動に制約が生(しよう)じて、さらに経済も立ち行かなくなる、目詰(めづ)まりを起している状況は、かなり、深刻です。 繰り返される報道や情報等、不安や恐怖に心が沈みがちです。あるがままに見つめ、受け入れていかななくてはなりません。 なかなか出来ることではありませんが、やはり、受け入れる、そのためには、「癒(いや)し」「和(なごみ)」、そして、「安(やす)らぎ」という処方箋(しょうほうせん)が必要ではないでしょうか。

◇さて、一年で二番目に美しいとされる「お月見」、何という月で、いつ見ることが出来るかご存知ですか。 もちろん、一番美しいとされる月は、「仲秋の名月」で、旧暦の八月十五日で、今年(今年)は明日の十月一日です。 一年で二番目に美しいとされる月は、「十三夜月(じゅうさんやづき)」で、旧暦の九月十三日、今年(今年)は、十月二十九日です。 昔から、この両方の月を見て、愛(め)でないと「片見月(かたみつき)」といつて縁起が悪かったそうです。 「仲秋の名月」は、音楽を奏で、宴を催す宮廷貴族の年中行事でした。 それに対して、「十三夜月」は、月に宿るとされた水の神様に、里芋や果物等をお供えし、感謝する、庶民の信仰の行事でした。 その感謝を捧げる行事の、「十三夜月」を忘れないために、「片見月」といったのだそうです。

◇当宮の正面鳥居の左の柱には、「月色清人心（げっしょくせいじんしん）」と刻まれています。来月の仲秋の名月と十三夜月を愛でられ、「片手落ち」ならぬ「片見月」になりませぬよう、どうぞ、その美しい月の光で、不安や恐怖の心が、清められます「処方箋」となりますことをお祈り申し上げます。

◇前号にも引用させていただきましたが、進化生物学者の長谷川眞理子先生は、「人は本来、助け合う生き物として進化してきた」と述べられ、さらに、「なぜ人においてこれほど利他的な行動が進化したのか、それは、人に《心》があったからだ」と主張されています。人の身体が、進化によって適応的（てきおうてき）につくられたように、人の心も、また、進化したのだそうです。心が清まれば、言いかえるならば、心が進化すれば、不安や恐怖を受け入れていくなかで、柔（やわ）らかく適応していけるのではないのでしょうか。

「月色清人心」、癒され、和み、安らぎつつ、いつも清らかな心で過ごしたいものです。ご自愛をお祈り申し上げます。

◇九月の祭典行事会議報告

▼手水舎を花手水にしました！\*九月二十日〜二十二日

▼月次祭 \*九月一日、十五日

▼貴布禰神社月次祭 \*九月一日

▼若宮神社例祭 \*九月四日

▼秋季祖霊祭 \*九月二十二日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◆神社庁顧問参与会 \*九月九日

◆神道政治連盟研修会 \*九月九日

◆神社庁教化委員会、ならびに神宮大麻

増頒布推進委員会 \*九月二十四日

◆神社庁臨時役員会 \*八月二十七日

▼美祢社会復帰促進センター教誨活動

◆集合教誨（男子） \*九月十四日

◆釈放前指導講話（男子） \*九月十五日

▼その他

◆下関西ロータリークラブ例会にて卓話

\*九月二日 ※「日々是好日 く4Kプ

ラスROYの暮らしを」と題して三

十分の卓話をさせていただきました！

◆中央倫理法人会モーニングセミナー

\*九月三日

◆下関ケープルテレビリモート取材

\*九月八日 ※十月一日より下関ケ

ープルテレビの「下関人物伝」に出演が

決まり、取材がありました。

◆迫町自治会役員会 \*九月十六日

◆彦島怪談夜会が、ドライブシアター形式

で、境内で開催 \*九月二十日

※怪談界では有名な「あみい」さんをお

迎えし、午後七時より開催。開

催前に安全祈願祭を斎行、さらに開演の挨拶をさせていただきました。

◆人権相談 \*九月二十九日

◇十月の祭典行事予定

▼月次祭 \*十月一日、十五日

▼早起会参拝 \*十月一日

▼貴布禰神社月次祭 \*十月一日

▼権禰宜就任奉告祭 \*十月三日

※愚息明典が、六年半に及ぶ島根県松江市

の平濱八幡宮の奉仕を無事終了し、当宮

の権禰宜に就任します。

▼六連島八幡宮例祭 \*十月四日〜五日

※四日の前夜祭では、湯立神事があり

ます、あわせて愚息の禰宜就

任奉告祭を斎行します

▼田の首八幡宮例祭

\*十月十日〜十一日

※十日の前夜祭では、愚息の禰宜就任

奉告祭を斎行します

▼舞子島八幡宮例祭 \*十月十五日

▼例祭 \*十月十七日〜十八日

※コロナ禍で、サイ上がり神事は、非公開

で斎行します

▼朝粥会 \*十月二十一日

▼十月限定御朱印

\*観月祭限定、秋季例大祭限定  
※十月一日より頒布します